

平成30年度 出資団体監査の結果（指摘事項）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社三重県四日市畜産公社  
商工農水部農水振興課食肉センター・食肉地方卸売市場（出資に関する事務の所管所属）
- 3 監査実施期間 平成31年 1月11日
- 4 監査結果報告 平成31年 3月18日

監査の結果（指摘事項）

措置（具体的内容）・対応状況

【株式会社三重県四日市畜産公社】

<p>(1) 財務書類等について ア 個別注記表の重要な会計方針に係る事項に関する注記において、引当金の計上基準に関する記載がなされていなかった。不備のない適切な事務処理を行うこと。</p>	<p>【措置済】 平成31年 3月31日 個別注記表の重要な会計方針に係る事項に関する注記へ、引当金の計上基準に関する記載を行った。</p>
<p>イ 営業報告書について、会社法に定める事業報告として、定時株主総会に議案として提出し、承認を得ている。会社法においては、事業報告の内容を定時株主総会に報告しなければならない旨定められており、規定に沿うように改めること。</p>	<p>【措置済】 令和 元年 5月30日 役員会において、会社法第438条第1項及び第2項の規定に従い、営業報告を令和元年6月開催の定時株主総会に、株主総会の承認事項としてではなく取締役の報告事項として提出することを決定した。</p>
<p>ウ 貸付金利息の勘定科目を雑収入としているが、受取利息とする方が適切であるため、勘定科目を改めること。</p>	<p>【措置済】 平成31年 3月31日 貸付金利息の勘定科目を受取利息へ改めた。</p>
<p>(2) 文書管理について 次のとおり不適切な事例が見受けられた。不備のない適切な事務処理を行うこと。</p>	
<p>ア 出張届において、出張届日の記載誤り及び出張者印並びに精算金受領印漏れ。</p>	<p>【措置済】 平成31年 3月31日 出張届出日の訂正、出張者印並びに精算金受領印の押印を行った。</p>
<p>イ 四日市市からの補助金交付関係通知書において、社内回覧がなされていなかった。</p>	<p>【措置済】 平成31年 3月31日 社内回覧をするよう改めた。</p>

平成30年度 出資団体監査の結果（意見）に基づく措置状況等の報告

- |          |  |
|----------|--|
| 1 監査の種類  | 出資団体監査   |
| 2 監査対象   | 株式会社三重県四日市畜産公社<br>商工農水部農水振興課食肉センター・食肉地方卸売市場（出資に関する事務の所管所属） |
| 3 監査実施期間 | 平成31年 1月11日  |
| 4 監査結果報告 | 平成31年 3月18日  |

監査の結果（意見）

措置（具体的内容）・対応状況

【株式会社三重県四日市畜産公社】

<p>(1) 経営改善について ア と畜頭数がほぼ上限に達しているなか、経営努力で収支を改善していくためには、経営者にはそれに見合うような精緻な情報が必要となる。担当者は、結果としてのトータルの利益だけでなく、利益を構成する要素を十分に理解したうえで、改善点等の情報を社長に報告すること。 【改善事項】</p>	<p>【措置済】 令和 元年 9月18日 公社経営にあたっては、単に収支を見るのではなく、部門別の収支分析に努め、改善方策を検討し、社長に報告する中で、公社としての経営改善に鋭意、努力していく。</p>
<p>イ 内臓について、仕入が増加している一方で、その見合い分の売上は増加していない。仕入から販売までいかにロスなく行くかということが重要であり、外部に対して十分に説明できるようにすること。【改善事項】</p>	<p>【継続努力】 令和 元年 9月18日 内臓については、その特性から全量買取りするものの、すべてを販売することは極めて困難な状況である。新規販売先の開拓に努め、ロスの軽減を図るとともに、その説明にも努めていく。</p> <p>【継続努力】 令和 2年 3月18日 全量を買取る内臓については、如何にロスを減らし効率化を図るかという視点から営業に努めているが、新規の販売先の獲得に至っていない。引き続き販売先の開拓に努めていく。 併せて、既存販売先への販売量の増量にも努め、ロスの軽減に努めていく。</p>
<p>(2) 累積欠損について 厳しい経営状況の中で単年度損益は黒字を維持し、累積欠損を段階的に圧縮し、退職給与引当金も積み増している。引き続き累積欠損を計画的に圧縮していくこと。【改善事項】</p>	<p>【継続努力】 令和 元年 9月18日 業務の見直し、精査等を行い、引き続き累積欠損解消に向けて努めていく。</p> <p>【継続努力】 令和 2年 3月18日 今年度は、豚熱による取引高の減少等により、平成21年度以来の単年度損益の赤字が見込まれている。累積欠損の解消は本社の最大のミッションであり、今後も公社を取り巻く経営環境は厳しくかつ不透明な状況であるが、経営の効率化を図る中で着実に改善を図って行きたい。</p>

<p>(3) 技術の継承について          今後も安全で安心な食肉を提供していくためには、職員の技術が大変重要になってくるため、と畜の技術の高さを引き継いでいけるようにしっかりと研鑽を積みながら、引き続き良質な食肉の提供に努めること。  <b>【要望事項】</b></p>	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 元年 9月18日          と畜はかなり専門性を必要とする技術である。日々の研鑽、技術の継承については喫緊の課題であると考えており、引き続き良質な食肉の提供に向けて努力していく。</p>
	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 2年 3月18日          と畜業務は専門性が極めて高く、その技術継承は重要と認識している。経営的に限られた最少の職員で経営している中ではあるが、技術継承に留意しながら職員を育成していく。</p>
<p>(4) 消費者ニーズにかかる情報収集について          より幅広く情報収集をすることにより、消費者ニーズを十分に把握していく必要があると考える。消費者ニーズの集約を図るために、情報誌の購入や視察の旅費など情報収集にかかる予算を確保すること。<b>【改善事項】</b></p>	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 元年 9月18日          情報誌等購入、先進地等視察を行い、消費者ニーズを把握していきたい。</p>
	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 2年 3月18日          引き続き、情報誌やインターネットなどの情報媒体を活用するとともに、必要に応じて先進地視察を行い、経営に必要な消費者ニーズを始めとすると畜や食肉に関する情報を収集する。</p>
<p>(5) 食の安全安心について          平成32年(2020年)6月までのHACCP(ハサップ)認証など食の安全安心に関する取組みに努めているところであるが、より多くの方々に努力の成果が見えるようアピールに努めること。<b>【要望事項】</b></p>	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 元年 9月18日          現在、食肉の安全性を向上・確保する目的で、HACCP取得に向けて努力しており、取得後にはPRに努めたい。</p>
	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 2年 3月18日          令和元年12月25日付けで牛解体処理に係るHACCP認証を取得し、公社ホームページに掲載、周知を行っている。          今後、豚解体処理や副産物についても認証を受けるため、鋭意、取り組みを進めているところである。</p>
<p>(6) 食育について          食育という観点から、小中学生を対象として、見学の受入れやパンフレットなどにより仕事内容を周知するなど、公社の果たす社会的役割のひとつとして具体的に検討すること。<b>【要望事項】</b></p>	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 元年 9月18日          現施設はかなり手狭であり、自由に見学といった対応が取れない状況である。しかし、食育という観点からは、本施設は重要な役割を担うものとする。今後の大規模な施設改修、建替え整備等の折には、市へ対し見学コースの整備等も要望していきたい。</p>
	<p><b>【 措置済 】</b> 令和 2年 3月18日          本施設の今後の大規模な施設改修、建替え整備等の折には、見学コースの整備等要望について市と協議し、設置に向けて検討していく旨、回答を得ている。</p>

**【商工農水部農水振興課食肉センター・食肉地方卸売市場】**

<p>(1) 当法人への指導監督について 市から取締役を派遣し、取締役会議において経営改善に向けた指導監督を行っているとのことである。引き続き当法人の業務内容や決算状況を十分に把握するとともに、安全衛生対策や施設更新、当法人の社会的な使命について、当法人と十分に情報共有を図りながら、指導監督を行うこと。 <b>【要望事項】</b></p>	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 元年 9月18日 定期に開催される取締役会に出席するなどし、当法人の業務内容や収支状況などの情報を共有し、経営改善に向けた取組みの指導監督に努めていく。 また、地域住民への安全・安心な食肉の安定供給や施設利用者の安全性を確保するため、公社と協議等行い、老朽施設・設備の計画的な更新や保守、維持管理を的確に行うことにより、施設の円滑な稼働に努めていく。</p>
	<p><b>【 継続努力 】</b> 令和 2年 3月18日 現在、定期に開催される取締役会に出席するなどし、当法人の業務内容や収支状況などの情報を共有し、安全衛生対策や施設更新の助言を行うなど、経営改善に向けた取組みの指導監督に努めているところである。 今後も地域住民への安全・安心な食肉の安定供給や施設利用者の安全性を確保するため、公社と協議等行い、老朽施設・設備の計画的な更新や保守、維持管理を的確に行うことにより、施設の円滑な稼働に努めていく。</p>